



NPO 法人との連携による 心理臨床人材育成システムの構築

研究代表者：田嶋 誠一（人間環境学研究院）
研究分担者：増田 健太郎（人間環境学研究院）
宮原 里依子、姫島 源太郎、安藤 徹、
伊原 出、増田 有亮
（NPO 法人九州大学ころとそだちの相談室）

■プロジェクトの目的

臨床心理士は、様々な問題への貢献を期待されているものの、その活動基盤や展開はまだ不十分である。そのため、本プロジェクトは、



- ①地域で活動する NPO と連携することで、大学から社会（現場）まで繋がった心理臨床の実践的人材育成システムを構築
- ②地域の臨床心理士が参加できる研修等活動を NPO とともに実施し、年代や職場を超えたネットワークづくりながら 社会人の学ぶ場を確保

ということを通して、新たな人材育成システムを構築することを目的とする。

◇NPO 法人九州大学ころとそだちの相談室

2006 年に人間環境学府の OB を中心に設立。臨床心理学を地域に還元し、研究とつながった実践を展開する場とし、それによって地域貢献を目指す。



NPO 法人
九州大学ころとそだちの相談室
設立：2006 年 10 月
会員：個人 407 人 団体 16 団体

【事業内容】

- ◇臨床心理サービス事業
- ◇臨床心理学に関する研修事業
- ◇学校・企業等との協働事業
- ◇臨床心理学の研究事業

■プロジェクトの実績

NPO との連携により、以下のような活動を実施した。

① 大学院臨床実習の補完（臨床心理面接陪席実習）

臨床心理士の行うカウンセリングに陪席する大学院実習を、NPO においても行った。
(計 23 件)

② NPO 法人における心理支援実習、研修

以下の表にあるような大学院生へ実習・研修を実施した。

	実習内容	回数	実習生数
家庭学習支援	各家庭に定期的に訪問し学習支援活動を行う。	1124 回	55 名
学習支援集団指導	家庭学習支援事業のカンファレンス	16 回	のべ 85 名
フリースペース	居場所活動の企画運営、支援活動の実習を行う。	117 回	15 名
メンタルサポーター派遣	支援員として学校現場に訪問し、支援活動の実習を行う。	565 回	21 名
こころの授業派遣	学校現場での心理教育支援事業のプログラム企画立案、支援活動の実習を行う。	44 回	9 名
相談室運営実習	カウンセリングの電話受付や実務、種々の心理支援の企画運営・立案の実際を体験実習する。	42 回	3 名
支援員研修会	発達障害等の理解を深めるため、研修会を実施	17 回	のべ 120 名

③ 講演会の開催

日時	タイトル	講師	参加数
2010.5	「心理臨床のこれまでとこれから」	成瀬悟策、村山正治(九州大学名誉教授)	180 名
2010.12	「今、これからの心理臨床」	村瀬嘉代子(北翔大学教授)	320 名
2011.5	公開スーパービジョン	成田善弘(成田心理療法研究室)	200 名
2011.11	「ひとを理解し、かかわる」	氏原寛(前帝塚山学院大学教授)	250 名
2012.1	「発達障害児の保護者へのかかわり」 (事例検討会)	原田剛志(パークサイド子どものこころクリニック)	30 名

④ 研究論文・発表等（NPO との共同研究）

その他、NPO との共同研究も実施した。

■プロジェクトの成果

①NPO 法人における心理臨床実習の成果・達成度

A) 大学院臨床実習の補完

臨床心理士のカウンセリングに陪席し、その後シェアリングを行った。
→疑問や意見を直接伝えられる機会に

B) NPO 法人での心理支援実習（家庭学習支援・フリースペース）

子どもや利用者実際に実際かわることで、責任ある立場として経験を積むことができた。また、活動後のミーティング必ず実 経験を積むことができた。また、活動後のミーティングを必ず実施、全員で方針を共有した。

C) 学校への派遣（メンタルサポーター・こころの授業）

実際に学校に行くことで、現場の様子を直接学ぶことができた。工夫しながらの実践は、学校教師からも高い評価を得た。



フリースペース活動



メンタルサポート派遣

D) 相談室運営実習

相談室運営という、大学内では学びにくい分野について、実際に目の当たりすることができた。

② 教育・研究への波及効果

- ・ 従来、臨床心理士養成の際に、NPO（民間）が密接に関わることはほとんどなく、全国的に見ても独自性のある試みとなった。
- ・ 大学から離れて実習することで、学生の積極性やチャレンジ精神を育むことに繋がった。
- ・ 卒後研修の機会を設けることができた。OB・OGだけでなく、地域の臨床心理士全体にとって有意義な研修を提供できた。



“A system to Bring up Clinical Psychologists in Cooperation with NPO”

Project leader: **Seiichi Tajima**
(Graduate school of Human Environment Studies)

We, clinical psychologists are expected to solve various problems in the society. However, our operation has not developed enough. In this project, we have built a system to bring up clinical psychologists aiming at following issues.



- ① building a practical system to bring up promising clinical psychologists in cooperation with NPO and the university
- ② providing opportunities to study about clinical psychology in cooperation with NPO and the university, and making the network of clinical psychologists in Fukuoka beyond ages and workplaces

We carried out the following programs in cooperation with NPO.

- ① Supplemental training of clinical psychology in a graduate school.
Graduate students attended, as their training, a counseling performed by a clinical psychologist that was counseling service offered by NPO. (23 cases)
- ② Trainings and practices for the graduate students supported by NPO.
The graduate students carried out the following programs under the advice of clinical psychologists from NPO.
 - (i) giving a support to children' s studying in the home
 - (ii) conference for the tutors of children
 - (iii) providing the free space for children and adolescents
 - (iv) sending mental supporters to some schools
 - (v) participating in the class of psychological education
 - (vi) On-the -job training at the counseling office
 - (vii) lecture for the tutors of children
- ③ Holding lecture meetings
- ④ Giving papers and doing studies in cooperation with NPO

研究課題: NPO法人との連携による心理臨床人材育成システムの構築

研究組織: 人環、人間環境学府、教育学部 審査部門: 人社系 採択年度: H22 整理番号: 22202 種目: Cタイプ(教育研究システム改革プログラム支援)

代表者: 田嶋 誠一(人間環境学研究院 教授)